

14 ほりの再生をめざす ふるさとづくり

団体名 アクアリング委員会

主な活動地域 福岡県大川市下白垣地区

代表者 本村 凡憲



目的

当委員会が下白垣地区で8年間にわたって継続してきたほり干し活動を中心とする活動をさらに継続したいと考えている。地域の歴史や文化にほりは欠かせない存在であるという原点に立ち返り、この地域に特有な地域の環境財であるほりの機能を回復させることによって、この地域を農業生態系保全として、有機農業展開、そして農村景観保全の場としての位置づけを確たるものにし、他地区の模範となるようにしていく。



過去"ほり干し"をしたクリーク



ほり干し活動の様子

"宝島"近くを見学する選考委員

実施内容

農村景観の保全と、ほりの水環境にとって不可欠な在来の水生植物の保護活動、ほりの重要性を次世代に伝えていくため小・中学校で出前講義を行う。ほりが多くの希少な生きもののすみかとなっていることの重要性の観点から学び取る学習会を開催。また、ほりを干し底土であるガタを田んぼに還元するという伝統的な農作業風景を復活する。他にも、定期的な雑草・廃棄物の収集を徹底し、ヒシ、フナ、ウナギなどを守るために、徹底した外来種の駆除活動を行う。

ボランティア・イベントに参加しよう!

- 下白垣地区草刈り 2012年7月中旬
- 宝島周辺外来種駆除活動 2012年10月下旬
- 下白垣地区掘清掃・ゴミ拾い 2012年11月初旬
- 宝島周辺マコモ・葦切り活動 2012年11月初旬
- ホッケンギョ(地区的伝行事) 2013年1月初旬
- 生物多様性に関する学習会 2013年2月初旬
- 下白垣地区ほり干し 2013年2月初旬
- 宝島植樹作業 2013年3月初旬